

中秋明月祭大阪2012 開催にあたって

中日国交正常化40周年記念



中秋明月祭大阪 2012 実行委員会

実行委員長 曾昇龍

私たちはこれまで3回にわたり、中日友好の願いを込めて、飛鳥から奈良時代の都 史跡 難波宮跡で、両国共通の習慣である秋の明月を觀賞する季節に、「中秋明月祭」を開催させていただきました。

毎回、たくさんの来場者を迎えることができ、暖かい励ましをいただき、大阪の地で中国と日本の民間交流の促進とお互いの相互理解に寄与できましたことにあらためて感謝の意を表させていただきます。

今年は、中国と日本の国交が正常化されてから40周年の年にあたり、両国政府首脳は今年を「2012中日国民交流友好年」とし、幅広い国民交流を通じて相互理解と相互信頼の増進を図ることを約束しています。

この節目の年にあたり、私たちは中国と日本の友好交流が一段と高まり、新しい領域に進んで行くことを願って、「新たな友好へ」をテーマとし、4回目となる「中秋明月祭」を開催いたします。この祭りを通じまして、関西に暮らす中国人、日本人、地域の市民の皆様が集まり、新たな人と人との出会い、心のふれ合い、心の絆が生まれ、友好に新たな物語が生まれることを強く願っています。

今回も例年通り会場にはメインステージを設置し、中国の一流芸術団をはじめとするたくさんのパフォーマンスを觀賞していただき、会場に並んだ屋台では中国点心、中国料理や中国酒を味わっていただき、中国の芸術文化、観光、経済貿易、飲食からなる中国色にあふれた難波宮の空間を創造しますので、多数の皆様の来場をお待ちしています。

私たちはこの「中秋明月祭」を通じて、中国と日本の友好が深まり、交流活動が活発化し、中国人と日本人、その他の地域の方の間に信頼と友情がますます深化し、未来志向の新しい友好が実現し、地域社会に寄与することができることを願っています。